

事業実施者: 渡波漁船漁業協同組合

使用船舶名: 第八大成丸(9.7トン)、第八天龍丸(9.7トン)、第八正利丸(9.7トン)、
第七喜宝丸(9.7トン)、第三稻荷丸(9.99トン)、第八清竜丸(9.97トン)、
第八海幸丸(8.5トン)

支援機関: 平成26年9月1日～平成29年8月31日

(取組内容)

- 資源管理型漁業構築推進: 7隻全船の計画的集団操業に基づく漁獲努力量の縮減、殻長7cm以下の漁獲個体の主漁場への再放流及び混獲ヒトデの全量陸揚げによる対象資源の涵養
- 省燃油化による経費削減: 操業日数縮減と漁場往復航時エンジン回転率従前比9割励行による燃油消費量縮減
- ブランド化の推進: 厳格なサイズ選別により銘柄分けした製品を産地表示した特製平箱により出荷することによる市場等における差別化と認知度向上

(事業の成果)

- 主漁場における殻長5cm以上のアカガイの事業年度開始時の個体数は毎年増加(106,175個→146,632個→202,588個)し、資源管理型漁業構築の基礎となる対象資源の涵養が図られた。
- 年間燃油消費量は1年目94,140ℓ、2年目84,510ℓ、3年目77,170ℓで何れも復興計画の目標値(122,168ℓ)を大幅に下回った。
- 渡波産のアカガイの差別化と認知度向上により販売単価は何れの銘柄も毎年向上した。

項目 銘柄	販売単価(円/kg)		
	1年目	2年目	3年目
中玉	2,036	2,390	2,594
大玉	2,142	2,208	3,038
特玉	2,735	3,409	3,958
特大玉	2,341	2,813	3,275

